

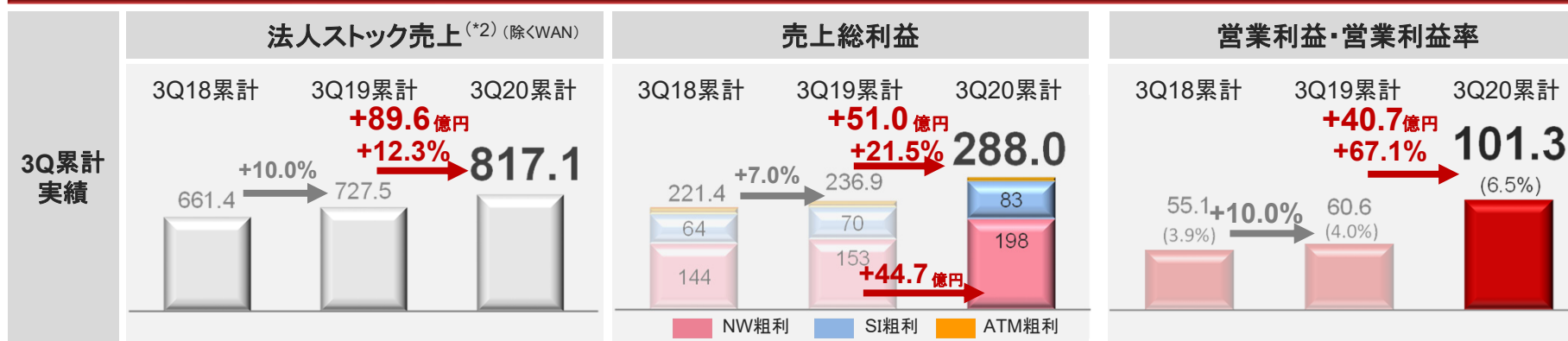
# I. 総括

単位: 億円  
% = 前年同期比

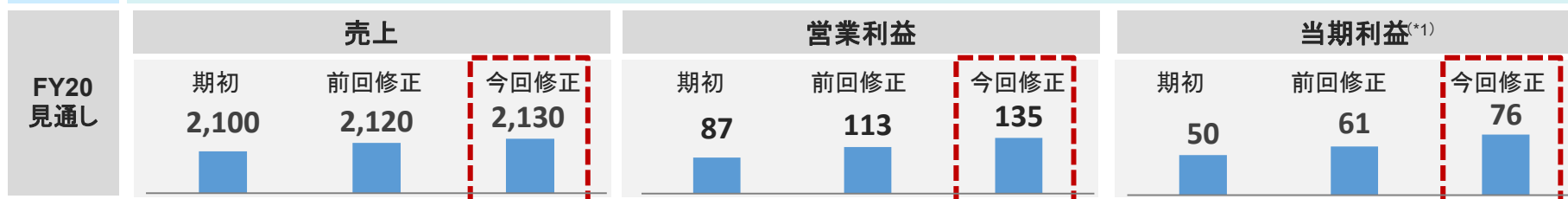
## 通期見通し再上方修正 需要動向・業績進捗を反映

加速する国内企業のIT利活用をネットワーク・SIの両輪ビジネスモデルで取り込み  
先行開発のサービス群・ネットワーク運営で差別化 スケールメリットで構造的増益

3Q20累計: 売上 1,560.7億円 +3.6% 営業利益 101.3億円 +67.1% 当期利益<sup>(\*)</sup> 58.8億円 +75.2%



- |            |  |   |
|------------|--|---|
| NW<br>サービス | <p>◆ 既存優良顧客へ高付加価値サービスクロスセル・多様化する企業NWニーズに柔軟に適応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 主軸のIPサービス売上: 89.9億円 (+12.5%)</li> <li>➢ セキュリティサービス売上: 136.1億円 (+12.4%)</li> </ul> | <p>◆ 法人・IoT案件順次拡大でモバイルサービス売上継続伸長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ モバイル総売上: 354.0億円 (+2.9%)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うちIoT等法人モバイル売上: 55.1億円 (+26.7%)</li> <li>リモートメンテナンス等多様なネットワークカメラ需要旺盛</li> </ul> </li> <li>➢ 個人向けモバイル新プラン 2月24日発表予定</li> </ul> |
| SI         | ◆ サービスと組み合わせたNW関連SIで総合力発揮・粗利率Q毎向上: クラウド売上 192.9億円 (+11.7%)   |   |



(\*) 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

(\*) 法人ストック売上は、法人インターネット接続(除くMVNE)、アウトソーシング、SI運用保守の合計額を表示。個別要因のあったWAN売上は含まず

# IV- 1. FY2020連結業績見通し(変更日:2月8日)

単位:億円  
YoY = 前年同期比

	売上高比	売上高比	前期比		売上高比	売上高比
	FY20新見通し (2021年2月9日修正) 2020年4月~2021年3月	FY19実績 2019年4月~2020年3月			FY20旧見通し (2020年11月9日修正) 2020年4月~2020年12月	3Q20累計実績 2020年4月~2020年12月
売上収益	<b>2,130</b>	<b>2,044.7</b>	+4.2%	+85.3	<b>2,120</b>	<b>1,560.7</b>
売上原価	81.6%	84.1%	+1.2%	+20.2	82.9%	81.5%
売上総利益	<b>391</b>	<b>325.9</b>	+20.0%	+65.1	<b>363</b>	<b>288.0</b>
販売管理費等 <sup>(*)</sup>	12.0%	11.9%	+5.1%	+12.3	11.8%	12.0%
営業利益	<b>135</b>	<b>82.3</b>	+64.1%	+52.7	<b>113</b>	<b>101.3</b>
持分法投資損益	<b>△9</b>	<b>△8.1</b>	-	<b>△0.9</b>	<b>△9</b>	<b>△7.3</b>
税引前利益	<b>123</b>	<b>71.6</b>	+71.8%	+51.4	<b>100</b>	<b>92.3</b>
当期利益 <sup>(**)</sup>	<b>76</b>	<b>40.1</b>	+89.7%	+35.9	<b>61</b>	<b>58.8</b>

※配当は、2020年11月9日発表時より変更なし(期末 10.25円/株、通期 20.50円/株) 通期決算時の当期利益確定に併せて修正検討

(\*) 販売管理費等は、販売費及び一般管理費(研究開発費を含む)、その他収益、その他費用の合計額を記載

(\*\*) 当期利益は、親会社の所有者に帰属する利益を表示

(\*) 1株当たり配当金は、分割後ベースで記載



日本のインターネットは1992年、IIJとともにはじまりました。以来、IIJグループはネットワーク社会の基盤をつくり、技術力でその発展を支えてきました。インターネットの未来を想い、新たなイノベーションに挑戦し続けていく。それは、つねに先駆者としてインターネットの可能性を切り拓いてきたIIJの、これからも変わることのない姿勢です。IIJの真ん中のIはイニシアティブ

---

IIJはいつもはじまりであり、未来です。

## **事業等のリスク**

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。